

カマチグループ医療連携会で報告 回復期リハ市場への攻勢と医療実績



12施設の在宅復帰率は

全国平均を16%上回る88・6%

カマチグループが新規開院した回復期リハビリテーション病院などの事業概況説明会「医療連携会」が8月22日、都内のホテルで開かれた。今回が2回目の開催で、都内を中心

に首都圏の急性期病院を中心とした病院関係者約1000人が出席した。

グループ代表の蒲池眞澄氏はリハビリの目標について「障害を受けた人をその人のなしうる最大の身体的、精神的、社会的、職業的、経済的な能力を有するまでに回復させる



〈開会の挨拶〉参議院議員 林 芳正 氏



〈開会の挨拶〉参議院議員 古川俊治氏



巨樹の会 関東統括副本部長 桑木 晋氏

ことである」と述べたうえで「一番大切なのは心である」と強調した。

グループを構成する4法人のひとつ、首都圏で回復期リハ病院の新規開設を続ける一般社団法人巨樹の会副理事長の桑木晋氏は、同会の実績を説明した。カマチグループが運営する病院のうち、関東の回復期12病院の新規入院患者数は2015年度に8701人。

疾病構造は脳血管障害49・8%、運動器42・6%、廃用症候群7・7%

だった。

12病院に対する紹介元は1517施設。その割合は東京都51・9%、千葉県12・3%、神奈川県10・9%、埼玉県8・4%、栃木県8・3%、その他12・7%という内訳だ。

この状況にあつて桑木氏が強調したのは在宅復帰率である。12病院平均の在宅復帰率は88・6%に達した。全国平均71・6%に比べて極めて優良な成果が出たのである。ADLの改善も好調で、食事介助、排泄介助、移動介助は、退院時にはそれぞれ39・3%、44・4%、48・7%が自立へと改善された。

さらに12病院の患者満足度も良好である。「当院を紹介したいと思いませんか?」に対して「はい」が84・1%に達し、100点満点の評価では89・3点を得た。

桑木氏は巨樹の会の今後の展開にも触れ、「患者様データベースを構築し、マスタータとして今後のオペレーション改善に活用します。さらに『回復期リハビリテーションnet』や健康教室を通じて患者教育を推進していきます」と展望した。



原宿リハビリテーション病院 院長 四津 良平氏

アジア最大級の回復期リハ病院 急性期病院の経験医師を配置

昨年4月に開院した原宿リハビリテーション病院（319床）はスタッフ542人。アジア最大級の回復期リハ病院で、ロボットスーツ「HAL」を4台導入している。リハビリテーション科、心臓血管外科、整形外科、神経内科、消化器外科、循環器内科、呼吸器外科の常勤医師を配置しているのも特徴で、心臓血管外科の医師で院長の四津良平氏は「急性期を経験している医師の配置によって、急性期病院が安心して当院に患者さんを転院させることができます」と語った。

同院は今年11月には332床に増床予定。



五反田リハビリテーション病院 院長 松谷 雅生氏

五反田リハビリテーション病院は 在宅復帰率96%を記録

原宿リハビリテーション病院が開院した6カ月後の10月に開院したのが五反田リハビリテーション病院（240床）である。

年中無休で1日9単位のリハビリを提供し、2015年11月〜2016年4月の在宅復帰率は96%を記録した。全国一の水準である。

院長の松谷雅生氏は「1日9単位のリハビリによって降圧剤の減量、血糖値の低下、食欲増進・低栄養からの脱出という副次的なメリットを得られています」と成果を報告した。



新久喜総合病院 院長 植松 武史氏

急性期病院を運営 24時間365日断らない病院が売り

今年4月に法人移行開院した新久喜総合病院（300床）ICU8床、一般病棟194床、一般回復期98床）は、今年1月にJA埼玉厚生連から譲渡を受けた。埼玉県の人口10万人当たりの医師数は148.6人で、全都道府県で7番目である。この医師不足地域にあって、同院は「24時間365日、断らない病院」を謳い文句に掲げている。

院長の植松武史氏は「病院を頼りにする全ての患者様に全力で出来る限りの医療を尽くします。当院での専門外の治療が必要な場合や、より高次の治療が必要な場合には他の医療機関に責任をもって紹介します」と意気込みを示した。



会場の様子



会場の様子



江東リハビリテーション病院開設準備室室長 池崎 清信氏

医療圏の回復期リハ病床不足補う 江東リハビリテーション病院

さらに来年4月に、巨樹の会は東京都江東区に江東リハビリテーション病院を開院する。グループ全体で22番目の病院となる。

同院の診療科目はリハビリテーション科で、病床数は200床。スタッフの配置予定数は常勤医師7人、看護師90人、看護補助者55人、理学療法士88人、作業療法士44人、言語聴覚士23人、MSW・看護師6人、薬剤師3人、管理栄養士2人、事務職員17人の335人。

都内東部の主な連携予定医療機関には白髭橋病院、済生会向島病院、同愛

記念病院、都立墨東病院、東京城東病院、聖路加国際病院、昭和大学江東豊洲病院、順天堂高齢者医療センター、東京臨海病院などが挙げられている。

東京都東部医療圏（江東区、墨田区、江戸川区）の回復期リハビリテーション病床数は今年6月時点で、江東区63床、墨田区162床、江戸川区232床の計457床。人口10万人当たりに換算すると、それぞれ12.5床、61.3床、33.6床だった。江東リハビリテーション病院の開院によって、医療圏の病床数は657床、人口10万人当たり45.6床に増床する。

同院開設準備室室長の池崎清信氏は「地元医師会と行政の指導のもとに安心・安全な回復期リハビリテーションを提供し、在宅復帰率向上を目指します」と抱負を述べた。

この日の医療連携会には来賓として衆議院議員・菅直人氏、参議院議員・林芳正氏、参議院議員・古川俊治氏、NTT東日本関東病院院長・亀山周二氏、日本医学会会長・高久史磨氏、日本医師会会長・横倉義武氏などが出席した。

Visionと戦略 編集部



受付の様子



受付の様子



会場の様子

懇親会 〈孔雀の間〉



〈来賓の挨拶〉 NTT 東日本関東病院 院長 亀山 周二 氏



〈来賓の挨拶〉 衆議院議員 菅 直人 氏



カマチグループ 会長 蒲池 真澄 氏



日本医師会会長 横倉 義武 氏



〈乾杯〉 日本医学会会長 高久 史磨 氏



司会 藤氏

